



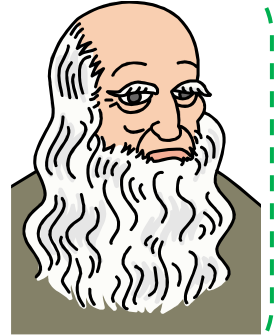
2012 年度前期富山国際大学エクステンション・カレッジ

No.14 ヨーロッパの歴史と文化 I

現在、ヨーロッパでは「国境なき共同体」としての EU が形成されつつあり、しかも EU は中部・東部へと拡大しています。本講座は、「EU 市民」という観念も生まれつつある現状を視野に入れて、ヨーロッパの歴史と文化を振り返り、「ヨーロッパとは何か」を考えてみます。

I では、「ヨーロッパ」という名称の起源についてふれた後、5 世紀の民族大移動から 17 世紀の絶対王政の確立までを取り上げます。

毎回プリント教材を配付し、必要に応じてビデオ教材を使用します。講師がヨーロッパで見聞したことなどもお話するつもりです。



日 程		講 座 内 容
第 1 回	6/8(金)	ヨーロッパという名称の起源——フェニキアの王女エウロペの略奪
第 2 回	6/15(金)	ヨーロッパの歴史のはじまり——5 世紀の民族大移動
第 3 回	6/22(金)	西欧世界の原型の成立——シャルルマーニュの戴冠
第 4 回	6/29(金)	封建制度とキリスト教共同体——中世とはどんな時代だったか？
第 5 回	7/6(金)	ルネサンス——イタリアから他のヨーロッパ諸国へ
第 6 回	7/13(金)	宗教改革（1）——ルターによる教会批判
第 7 回	7/20(金)	宗教改革（2）——ジュネーヴを拠点とするカルヴァンの活動と思想的特徴
第 8 回	7/27(金)	絶対王政の確立——フランスを中心に

～担当講師の紹介～

福島 清紀（ふくしま きよのり）

現 富山国際大学地域交流センター教授

1. 略歴

東京外国語大学非常勤講師

富山国際大学人文学部教授

富山国際大学地域交流センター教授（現）

2. 研究テーマ

近代ヨーロッパ思想、近代日本思想

3. 専門分野

比較文化、思想史

4. 所属学会

日本哲学会、比較思想学会

5. カレッジ担当科目

ヨーロッパの歴史と文化 I・II

ヨーロッパ諸国のアジア進出——植民地主義の歴史

日本人のアジア認識を振り返る

多文化共生論——寛容とは何か

はじめてのフランス語

シャンソンでフランス語を味わう



～担当講師より～

日本で生活している私たちにとって、ヨーロッパははるか遠い地域に感じられるかもしれませんが、私たちの日常生活には、ヨーロッパで生まれた文化が深いところまでたくさん入り込んでいます。

その点について少しずつ考えてみましょう。お気軽にご参加ください。

講座名 No.14 ヨーロッパの歴史と文化 I			
分野	教養講座	回数	全8回
講座期間	2012年6月～7月	時間帯	13:30～15:00
対象層	どなたでも参加自由	定員	30名
場所	CiC3階 サテライト・オフィス	受講料	8,000円(税込)

※受講料は、第1回目の授業日にお支払い願います。なお、受講料納入後は返還できません。

☆歴史コース科目の案内

10月26日(金)～12月21日(金)

教養講座：ヨーロッパの歴史と文化Ⅱ

5月9日(水)～6月27日(水)

教養講座：多文化共生論——寛容とは何か

10月3日(水)～10月31日(水)

教養講座：ヨーロッパ諸国のアジア進出

11月7日(水)～12月5日(水)

教養講座：日本人のアジア認識を振り返る

◇ 達成目標

ヨーロッパの歴史を特徴づける重要な出来事とその背景について、基本的な理解を目指します。

あわせて、日本を含むアジアとヨーロッパとの関わりを見つめなおしてみましょう。左記の歴史コースの講座も参考になるはずです。

※富山国際大学エクステンション・カレッジ

富山国際大学は、「共存・共生」の精神を基本理念に掲げ、国際的視野に立脚した人間形成を基本に、時代の潮流に対応できる人材の育成を通して国際社会と地域社会に貢献することを目指しています。

そこで本学は、その知的資源を社会に還元すべく、今年度4月にエクステンション・カレッジの設置に至りました。

質の高い現代社会に対応した講座の展開と、受講満足度を追求したサービスを提供することによって、皆様のニーズにお応えできるよう励んでまいりたいと思います。

お申込み先



富山国際大学 地域交流センター

〒930-1292 富山市東黒牧 65-1

TEL : 076-483-8000 (代表) FAX : 076 - 483-8880

E-mail : kyoumu@tuins.ac.jp